第4章 ■ 日付の関数と IF 関数

STEP 1. 現在の日付 TODAY (トゥデイ)

1. セル「B2」に TODAY関数を使い現在の日付を入力しましょう

₽	ۍ . د						1	エクセル	^{きどう} を起動し	、シー	トのフ
ファイル	木一ム	挿入	ページレイア	ウト 数式	; データ	校閲	表示	ォントを	[MS	Pゴシッ	ク」 フ
	Ж м	SPゴシック		14 × A	≡	≡ ॐ*	E.	ォントサ	イズを「	⁻14」 (⊂ (<i>、</i> ます。
貼り付け	s B	ΙŪ·	- 🗄 🗸 💆	- <u>A</u> - ⁷		≣€≣∍≣			<u>►0.00 条(</u> せんた	<u>件付き テーゴ</u> 三	
クリップボー	F G		フォント		G	配置	<u> </u>	セル「B2	2」を選払	沢します	•
B2	Ŧ	: ×	√ f×								
	A	в	С	D	Е	F	G	н	I.	J	
1											
2											
3											
4											

H	್ ∂	> - ∓			¥		— <mark>3</mark>		をクリック	<i>しま</i>	す。
ファイル	ホーム	挿入	ページレイ	アウト	数式 データ	校閲	表示(? 実行したい作業	を入力してください	١	
<i>fx</i> 関数の 挿入	】 オート 最近 SUM ▼ ↓	★ 丘使用した 関数 ×	財務 論理 、 関	A 文字列 操作・ 数ライブラリ	日付/時刻 検索/行 で TE	 列 数学/Ξ ▼	手角 その他の 関数 ▼	 回名前 予数5 名前の 予数5 管理 記述 定義され 	前の定義 ▼ 式で使用 - R範囲から作成 1た名前	診参 ◎:帰参 <mark>隊</mark> N	
B2	Ŧ	: ×	√ f _x		DATEVALU	E		ひづけ/じ			
1	A	В	С	D	DAYS DAYS360		4	।⊟1IJ/⊮ इ.	「刻」をク	ערי	クしま
2					EDATE						
3 4					EOMONTH						
5					ISOWEEKN	UM					
6					MINUTE		<u> </u>	[TODAY]	をクリッ	クしま	्व.
8					MONTH	/					
9					NETWORKE	DAYS	L				
10					NOW						
11					SECOND						
13					ТІМЕ						
14						-					
15 16					TODAY WEEKDAY						
10					WEEKALIM						

- 192 -

関数の引数 ? ×	──── <mark>6</mark> 「OK」をクリックします。
現在の日付を表すシリアル値 (Excel で日付や時刻の計算で使用されるコード) を返します。	
この関数には引数は必要ありません。	
数式の結果 = 可変	
<u>この関数のヘルプ(H)</u> OK キャンセル	
ਜ਼ ੯ 5 • ਟੋ • ∓	Book1 - Excel
ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト TODAY 関数 ガ	表示 🛛 実行したい作業を入力してください
f_x \sum 🗾 📔 🛛 🖾 こしゅうりょく 入力されま	
関数の オート 最近使用した 財務 論理 文字 挿入 SUM ▼ 関数 ▼ ▼ ▼ 操作 した。	/三角 その他の 名前の 2000 名前の 2000 名前の 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000 20
関数ライブラリ	定義された名前 こんかい かんすう つか
	今回は「関数ライブラリ」を使って
B2 \checkmark f_{x} =TODAY()	
$B2 \bullet E A B C D F$	$\begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \begin{array}{c} \end{array} \\ \\ \end{array} \\ \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \end{array} \\ \end{array} \\ \end{array} \\ \begin{array}{c} \end{array} \\ \end{array} $
$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
B2 A B C D E 1 2 2016/2/19 現在の日付が	ん 入力しましたが、キーボードから
B2 エレン エー = IODAY() A B C D E 1 1 ビルざい ひづけ 現在の日付が ひょうじ 表示されまし 500	しません。
B2 A B C D E 1 2 2016/2/19 3 4 た。	入力しましたが、キーボードから $5_{5}^{<}(2)$ 直接「=TODAY()」と打ち込んでもかま いません。



練 認 																						
		А	В	С	D	E	F		G	Н	I											
	1 2 3 4		2016/2/19		2016/2/29																	
5 6 日付はテキストとは異なり ます。																						
と き 今	ント う 日か	5 10⊟	^{っこ ひづけ} 後の日付は ⁻	FODAY()-	+10 で計算し	/ます。					ます。 ヒント う日から 10日後の日付は TODAY()+10 で計算します。											

Excel2016 基礎1

STEP 2. 日付から西暦を取り出す YEAR(イヤー)

1. セル「B3」に日付「2013/2/3」を入力しましょう

リハー 関数の 挿入	オート SUM ▼	は 最近使用した 関数 ▼	 財務 ▼	論理 文書 論理 文書 ▼ 操(関数ライン	■ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	行列 数学/三: •	角 その他の 関数 ▼	名前の 管理 品 選択範囲から作成 定義された名前
B4	-	· : ×	~/	f _x			- 1	セル [B3] に [2013/2/3] と入力
	А	В		С	D	Е		しより。
1								
2		2016 2	/19		2016/2/29		0	
3		2013/	2/3					
4								
5								
6								
7								

2. セル「B4」に YEAR (イヤー) 関数を使いセル「B3」の日付の西暦 (2013) を表示しましょう

ファイル	ホーム	、挿入 ^	ページ レイアウト	数式 データ 校開 表	₹ 1	でづせ/ 「日付/	^{じこく} 時刻」をく	フリックしま
fx	Σ	*	? A	θ	Ŀ	す。		
関数の 挿入	オート ∄ SUM ▼	最近使用した 財務 関数 ▼ ▼	务 論理 文字列 ▼ 操作、		その他の 関数 ▼	名前の 管理 🔐 選	択範囲から作成	™ _ Fi
			関数ライブラ	DAY]	定義さ	れた名前	
DA			£.	DAYS				
В4			Jx	DAYS360	1			
	A	В	С	EDATE	F	G	Н	1 - E
1				EOMONTH				
2		2016/2/1	9	HOUR				
3		2013/2/	3	ISOWEEKNUM				
4				MINUTE				
5				MONTH				
6				NETWORKDAYS				
7				NETWORKDAYS.INTL				
8				NOW				
9				SECOND			······	
10				TIME				
10				TIMEVALUE				
12				TODAY	2	[YEAR]	をクリック	フします。
13				WEEKDAY				
14				WEEKNUM				
16				WORKDAY				
17				WOLKDAY.INTL				
18				YEAR			••••••	
10				VEARERAC				

YE	EAR	Ŧ	: × 🗸	<i>f</i> _x =	YEAR()		— <mark>3</mark>	セル「B	3」 をク!	ノックし	,ます。
		A	в	С	D	E	F	G	н	I.	
1											
2			2016/2/19		2016/2/29						
3			2013/2/3								
4			=YEAR()								
5		関数の	 引数		•			? X			
6		VEAD									
7		TEAN									
8			シリアル値		=	数値					
9					=						
10		年を 19	900 ~ 9999 の範囲の)整数で返しま	.						
11				シリアル値 は	c(‡ Microsoft Excel	で使用されるE	3付/時刻3	ドを指定します。			
12											
13		数式の	結果 =								
14		7088					01/	the set of the set			
15		<u>この関金</u>	<u>XU/\JJJ(H)</u>				UK	キャンセル			

参考「関数の引数」ダイアログボックスが邪魔になる時は ダイアログボックスが邪魔になる場合はダイアログボックスをかさくしましょう。	
ダイアログボッグスが邪魔になる場合はダイアログボッグスを小さくしましょう。 ■数の引数 YEAR ジリアル値 年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。 ジリアル値 には Microsoft Excel で使用される日付/時刻コードを指定します。 数式の結果 = <u>この関数のヘルプ(H)</u> OK キャンセル B 感愛をクリ すると売の また、たち、は、	ック クき キ
 	ったこ
YEAR とを確認します。	
= 2013 年を 1900 ~ 9999 の範囲の整数で返します。	
シリアル値には Microsoft Excel で使用される日付/時刻フートを指定 <mark>5 「OK」</mark> をクリックします	す。
数式の結果 = 2013	

⊟ চ ∙					Book1 - Excel	
ファイル ホー	ム 挿入 ペー	ジ レイアウト	YEAR 関数 ガ	表示	♀ 実行したい作業を入力してください	
fx 入 関数の 挿入 SUM・	★ ■ 最近使用した 財務 関数 ▼ ▼	 ・ 2 2 3 4 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ 2 2 3 ・ ・ ・	^{にゅうりょく} 入力されま した。) 三角 その 関数	回名前の定義 計量 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<>	
B4	• : × 🗸	$f_x = Y$	EAR(B3)			
A	В	С	D	E		
1 2 3 4 5	2016/2/19 2013/2/3 2013	で い い い い い い い い い い い い い い い い い い い	「2013/2/3」の西 ぶか「2013」が表 れました。		しましたが、キーボードから 「=YEAR(B3)」と打ち込んで いません。	いた ら 直 接 ぎ も か ま



解説 関数の引数(ひきすう)

開数を呼び出す時にその関数に渡す値を「引数」と言います。YEAR関数の場合「日付」が「引数」 たなります。YEAR関数は「引数」として日付の値を受け取り、その日付から西暦の値を計算し、 計算結果を呼び出したところに返します。

[s]数]は[YEAR (B3)]のように関数名の後に())を付けて記入します。TODAY関数は[]引数]を必要としない関数ですが、引数がない場合でも())を省略せず TODAY()と書きます。

STEP 3. 日付から月を取り出す MONTH(マンス)

1. セル「B5」に MONTH (マンス) 関数を使いセル「B3」の日付の ^{つき} 月の「2」を表示しましょう

8	÷5 -			Book1 - Excel						
ファイル	·	」。 挿入	ページ レイアウト	数式 データ	校閲	表示 <mark>1</mark>	セル「B	5」を選払	ミス アレます	Γ.
<i>fx</i> 関数の 挿入	∑ ォート SUM ▼	▶ 最近使用した 関数 >	記録 ? / 財務 論理 文字 ・ ・ ・ 関数 イブ	列 日付/時刻 検索/A 「 うり	● 予列 数学/三) ▼	 ● その他の 関数 マ	 回名 況数 管理 品選 定義さ 	前の定義 ▼ 式で使用 > 択範囲から作用 れた名前	計 ● 計 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 参 参 の 記 参 参 の 記 参 の 記 の 参 の 記 の の の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日 の 日	
B5	-	: ×	√ f.							
	А	В	с	D	E	F	G	Н	1	
1		2016/27	// 9	2016/2/29						
3		2010/2/	2/3	2010/2/23						
4		<u>2</u> 0	013							
6										
7										

ਜ਼ 5• ∂• ∓	2	^{od#/じこく} 「日付/時刻」をクリックしま
ファイル ホーム 挿入 ページレ	イアウト 数式 データ 校閲 表示	 च.
fx 上 上 関数の 挿入 オート SUM * 最近使用した 関数 * 財務 *	? A 理 文字列 日付/時刻 検索/行列 数学/三角 その他の * 操作* DAY DAY DAYS	 三 名前の定義 * 計参 予 参 予 数式で使用 * 端参 名前の 管理 品 選択範囲から作成 定義された名前
	DAYS360	「MONTH」をクリックします。
1 2 2 2016/2/19 3 2013/2/3 4 2013 5 6 7 8 9 10 11 12 13 11	EOMONTH HOUR ISOWEFKNUM MINITE MONTH NETWORKDAYS NETWORKDAYS.INTL NOW SECOND TIME TIME TIMEVALUE TODAY WEEKDAY	
14	WEEKNUM	
15	WORKDAY	

挿	λ SUM -	関数、		→ 操作		× × ×	関数▼	管理留選	択範囲から作成	t 🌾 HL	
				関数ライフ	70		— <u> </u>	セル「B	3 をク	トックト	ます.
м	ONTH 🔻	: ×	~	<i>f</i> _x =	MONTH()			270 12			
		D		0	5	-	-	0			
1	A	В	$ \rightarrow $	C	D	E	F	G	Н		
1											
2		2016	2/19		2016/2/29	}					
3		2013/	2/3								
4			-013								
6			··· .		ç			<u> </u>			-
7	関数の引数		\square				– 5	シリアル		3] (273	ったこ
8	MONTH							とを確認	します		
9	シリス	Pル値 B3			i = 41	308					
10											
11	月を1(1月) ~ 12 (12	月)の節	囲の整数で返	= 2 1.), ます。						
12	///	., (2.115	711/店 /=/+ M	lionanaft Event 7/	5田 + h 고 디 / 너 / 너					
13	·		200		ICTUSUIT EXCEL (1)	CHIC1 (2011)/15	6	[OK]	をクリッ	クしま	す 。
14	数式の結果	= 2					/ —				
15		_									
16	<u>この関数のへ</u>	<u>ルブ(H)</u>				OK	+1	アンセル			
17	4										

B	Book1 - Excel								
ファイル	木1	」 挿入 ペー	ジ レイアウト		すう	表示(2 実行したい作詞	業を入力してください	N
<i>fx</i> 関数の 挿入	∑ オート if SUM ▼	★ ■ 最近使用した 財務 関数 ▼ ▼	 ? 論理 文字列 、 操作、 関数ライブラ! 	MONTH 関語 にゅうりょく 入力さ した。	数 か れま		 三名 名前の 管理 定義さ 	A前の定義 ▼ 対式で使用 - ま 訳範囲から作成 まれた名前	計参 《諸参 [] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
B5	*	: × ✓	f _x =M	ONTH(B3)					
	А	В	С	D	E		^{かんすう} 「 閏数ライ 」	ブラリレを	
1									
2		2016/2/19			つき	L	ょましたか	、+-ハ-	・トからし接
3		2013/2/3		[2013/2/3	」の育		[=MONTH(B	3)」 と打ち	込んでもかま
4		2013		の 部分 [2]	が表示		\=++6.		
5		2			15 18/11	L L	えにつ。		
6				されました	0	J			
7									



STEP 4. 日付から日を取り出す DAY(デイ)

1. セル「B6」に DAY(デイ)関数を使いセル「B3」の日付の日の [3] を表示しましょう

8	5 -				E	300k1 - Excel				
ファイル	木-1	ム 挿入 ペー	・ジ レイアウト	数式 データ	校閲	表示 1	セル「Be	引を選携	沢します	•
<i>fx</i> 関数の 挿入 B6	∑ オート SUM ▼	★ 上記 「「「」」」」 ★ 日本 「」」 ★ 日本 「」」 ★ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	? 論理文字 関数5-1	90日付/時刻 検索/4 アリ	□ ① ① ② ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦ ⑦	● その他の 関数 >	 回名前 分数5 名前の 管理 品 選 定義され 	前の定義 ▼ 式で使用 ~ R範囲から作成 1た名前	器→参 ◎嗜参 成 <mark>以</mark> N	
	А	В	c	D	E	F	G	н	I.	
1										
2		2016/2/19		2016/2/29						
3		2013/2/3	ç			¢				
4		2013								
5		🖌 2								
6										
7										
8										

ਜ਼ •5• ∂• ∓	2	と「日付/時刻」をクリックしま
ファイル ホーム 挿入 ページ	レイアウト 数式 データ 校閲 表示	す 。
fx 下 正 関数の 挿入 オート 最近使用した 財務	2 A 日 論理 文字列 日付/時刻 ★ 操作 関数ライブラリ DATE	 〇二 名前の定義 · 於 参 〇八 数式で使用 · 〇子 智理 品 選択範囲から作成 定義された名前
B6 ▼ : × ✓ .	fx DAY	
A B 1	C DAVE F DAYS30	G H I
2 2016/2/19 3 2013/2/3	EOMONTH	B 「DAY」をクリックします。
4 2013 5 2	ISOWEEKNUM	
7	MINUTE MONTH	
9	NETWORKDAYS NETWORKDAYS.INTL	
11	NOW SECOND	
13	TIME TIMEVALUE	
15 16	TODAY WEEKDAY	

関数の オート 最近使用した 財務 論理 文字列 日付/時刻 検索/行列 数学/三角 その他の 名前の A 前の										
			関数ライブ	79		— 4	セル 「B	3」 をクリ	ノックし	/ます。
DA	$DAY \rightarrow i \times \checkmark f_x = DAY()$									
	А	в	С	D	Е	F	G	Н	I.	
1										
2		2016 2/19		2016/2/29						
3		2013/2/3								
4		2013								
5		2								
6		=DAY()								
7	関数の引数	:		: :		5	シリアル	√値が 「B	3」にた	こったこ
8	DAY		/				レを確認	। ≠ਰ		
9	DAY		<u>×</u>					1069		
10		シリアル値 B3			= 41308					
11					= 3					
12	シリアル値に	対応する日を1から3	1 までの整数で	返します。						
13		카	アル値 には М	1icrosoft Excel で日	付や時間の計算	章に使用される	日 <u>付コードを指</u> 算	6 [0	レーたノ	רעערור
14			ます。						N J (2)	ליפריי
15	数式の結甲	- 3						しま	<u>g</u> .	
17	就いいれ来	- 5								
18	<u>この関数の^</u>	<u> </u>				ОК	キャンセル	<u> </u>		
10										

B	ب ج	0 -					Ĩ	3ook1 - Excel			
ファイル	ホ− ∠	、 挿入 ペー	ジ レイアウト	かんすう	+ň		表示 🖸) 実行したい作業	を入力してくだ	さい	
<i>fx</i> 関数の 挿入	∑ ォート H SUM *	★ 最近使用した 関数 ★ ★	 ・ ・ ・ ・ 関数ライブ ・ 	DAT 関数 ^{にゅうりょく} 入力され した。	ッ れま	€ (Ξ:	● その他の 関数 マ	 回名 況数 管理 品 選 定義さ 	前の定義 ▼ 式で使用 > 択範囲から作成 れた名前	診参 ◎諸参 成 <mark>隊</mark> N	
B6	-	: × 🗸	<i>f</i> _x =[DAY(B3)							
	Α	В	С	D	E		F	G	Н	1	
1 2		2016/2/19		2016/2/29			Г	がんすう 関数ライン	ブラリ」	っか を使って	
3		2013/2/3	Г2	2013/2/3Lの			L	ましたが	、キーボ	ードか	ら直接
4		2013		いい <i>と</i> し」の ^{ぶぶん} ひょ 収 分「3」が 実	うじ		Г	=DAY(B3)	」と打ち	えんでも	らかまい
6 7		3		いました。			t	せん。			



STEP 5. 2つの関数を組み合わせて使う

1. セル「D4」に TODAY関数と YEAR関数を使い、今日の日付の西暦 を表示しましょう

Book1						ok1 - Excel			
ファイル	木一上	、挿入 ペ-	-ジ レイアウト	数式 データ	校閲	表示 🔉	実行したい作業	徳入力してくだる	きい
<i>fx</i> 関数の	∑ ォ-Ւ ±	▶ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	? A <p< td=""><td>列 日付/時刻 検索/4</td><td>〒列 数学/Ξ</td><td> 三角 その<u>他の</u></td><td>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</td><td>前の定義 ▼ 式で使用 ▼</td><td>診参 (3)参</td></p<>	列 日付/時刻 検索/4	〒列 数学/Ξ	 三角 その <u>他の</u>	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	前の定義 ▼ 式で使用 ▼	診参 (3)参
挿入	SUM *	関数▼ ▼	▼ 操作 関数ライブ:	тт т 50	, Č	- 開	セル「D	4」を選択	くします
D4	Ŧ	: × 🗸	f _x						
	А	В	С	D	Е	F	G	Н	I.
1									
2		2016/2/19		2016/2/29					
3		2013/2/3							
4		2013							
5		2							
C		~							

8	ب ج	¢ ∓			- 2	۲۵۵۵ ۱€ЦЦ	^{)こく} 時 刻」 を	クリックしま
ファイル	₩ 	」 挿入 ペー	ジ レイアウト	数式 データ 校閲 表	沶	す。		
<i>fx</i> 関数の 挿入	ד ז-רי SUM י	★ 目示 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1	 ・ 文字列 ・ 操作・ 関数ライブラリ 	日付/時刻 検索/行列 数学/三角 ・ DAY	 その他の 関数 ▼	 回名 況数 管理 留選 定義さ 	前の定義 ▼ 式で使用 > 択範囲から作成 れた名前	翻参 「諸参 え <mark>咲</mark> 凡
D4	+		fx	DAYS				
				DAYS360	_	0		
1	A	В	С	EDATE	F	G	H	
2		2016/2/10						
3		2010/2/13		ISOWEEKNUM				
4		2013		MINUTE				
5		2		MONTH				
6		3		NETWORKDAYS				
7				NETWORKDAYS.INTL				
8				NOW			<u> </u>	
10				SECOND	<u> </u>	YEAR]	をクリッ	クします。
11				TIME				
12				TIMEVALUE				
13				TODAY				
14				WEEKDAY				ð
15				WEEKNUM				
16								
17								
18				YEARFRAC	-			